

環境技術実証モデル事業 湖沼等水質浄化技術分野における
実証対象技術の選定について（お知らせ）

平成18年9月19日（火）
埼玉県環境科学国際センター
水環境担当 鈴木、田中、木持
電話：0480-79-8353(直通)

平成18年度環境技術実証モデル事業 湖沼等水質浄化技術分野における実証機関である埼玉県において、実証対象技術を選定いたしましたので、お知らせいたします。

1 背景・経緯

環境技術実証モデル事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。

平成18年度湖沼等水質浄化技術分野の実証機関である埼玉県において、実証対象技術の募集を行ったところ、次のとおり申請がありました。

募集期間 5月29日（月）～6月9日（金） 申請件数 3件

2 実証対象技術の選定

埼玉県では、各府県の技術実証委員会等において、申請された技術の形式的要件や実証可能性、技術の先進性や環境保全効果などの観点から検討を行い、環境省と協議の上、実証対象技術を2件選定しました。

3 今後の予定

各実証機関において、実証対象技術毎の実証試験計画を策定し、実証試験を順次実施する予定です。

実証対象技術の概要

1 環境技術開発者 (株)ホクエツ関東、(株)ホクエツ

【名称】 浄化ブロック

【目的】 護岸を利用し、水中の有機物等の濃度を低下させる。

【処理原理】 大小の空隙孔を有するポーラスブロックを湖岸に設置し、その表面の生物膜形成による接触酸化を利用し、水質改善を行う。

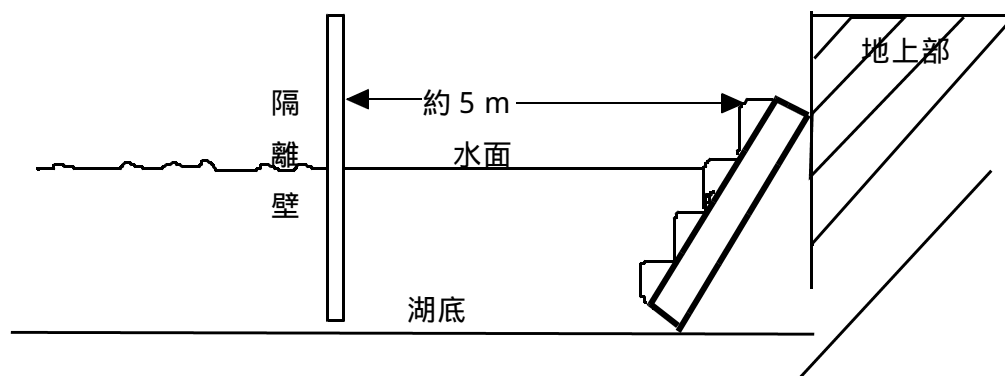


図 1 浄化ブロックの模式図

2 環境技術開発者 株式会社 フォーユー商会

【名称】 カーボンリバーシステム

【目的】 水中に垂らした炭素繊維房群を用いて有機物を除去する。

【処理原理】 炭素繊維房への有機物等の付着及び炭素繊維表面に形成された生物膜による有機物除去により水質改善を行う。

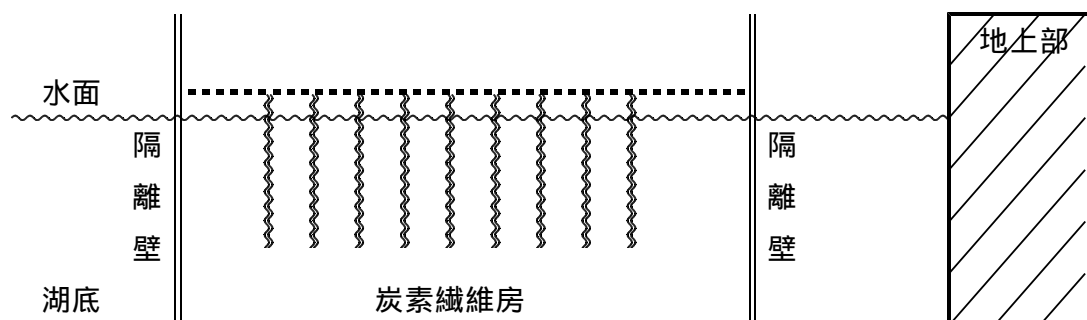


図 2 カーボンリバーシステムの模式図